

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)グランドメゾン大手門1丁目計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40		-	2.8
1 音環境						4.0	0.15	3.2	1.00	3.5
1.1 室内騒音レベル		-				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		T-2				5.0	0.50	3.4	0.50	
1 開口部遮音性能		-				5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-				-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-				-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-				-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		-				-	-	-	-	
2 温熱環境						1.6	0.35	2.3	1.00	2.0
2.1 室温制御						2.2	0.50	3.7	0.50	
1 室温		-				3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		日本住宅性能表示基準5-1における等級4を超える水準				1.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		-				-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		-				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						2.7	0.25	2.9	1.00	2.8
3.1 昼光利用						4.2	0.30	2.9	0.50	
1 昼光率		<共用部分>2.5%以上 <住居部分>1.5%以上				5.0	0.60	4.0	0.50	
2 方位別開口		-				-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備		-				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御		-				1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		-				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		-				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量		-				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-				-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		-				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-				-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.0	0.40	3.8	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		-				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		Gbitクラスのプロードバンド設備を整備				-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		-				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-				-	-	-	-	
3 内装計画		-				3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		-				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.2	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		免震装置を導入している				4.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		性能評価劣化等級3相当				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-				2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:PEP:B、汚水、雑排水:VP:B、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		-				2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		-				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		-				1.0	0.20	-	-	
3 電気設備		-				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		-				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		精密機器の地下設置回避等				4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.0	0.30	3.8	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり						-	-	4.6	0.50	
1 階高のゆとり		階高3.0m以上				-	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率<0.3				-	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性						3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		-				3.0	0.20	-	-	

	2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	-
	3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	-
	4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	-
	5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	-
	6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				植栽により良好な景観を形成等	4.0	0.40	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	-
	3.2	敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				適切な断熱を施し、建物の熱負荷を抑制している	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				-	2.0	0.10	-	2.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.79	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	-
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	-
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
	4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	-
	4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水			1.0	0.40	-	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
	1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	-
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.60	-	-	3.5
	2.1	材料使用量の削減	機械式継手を採用等	4.0	0.10	-	-	-
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	-
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	スラブ下断熱材: 押ボリ3種	3.0	0.20	-	-	-
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	-
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	「LGS下地+仕上材」により分別が容易としている	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	-
	1	消火剤	-	-	-	-	-	-
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	-
	3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮				適切な断熱を施し、建物の熱負荷を抑制している	4.0	0.33	-	4.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
	1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	-
	2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	-
	3	交通負荷抑制	付置義務台数以上の駐車・駐輪スペースを確保	4.0	0.25	-	-	-
	4	廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
	1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	-
	2	振動	-	-	-	-	-	-
	3	悪臭	-	-	-	-	-	-
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	-
	2	砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	-
	3	日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	-
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	-

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)グランドメゾン大手門1丁目計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	3.0	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0	-	-	3.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0	-	2.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0	-	1.0	2.0	3.0	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-

LR1 エネルギー													
2	自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル													
1.2.2	雑排水等再利用システム導入の有無												
2.1	材料使用量の削減	3.0	-	-	3.0								
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用												
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	○	○	-	-							
3.1	有害物質を含まない材料の使用	-											
LR3 敷地外環境													
2.2	温熱環境悪化の改善	10.0	2.0	-	-	-	3.0	-	-	2.0	3.0	-	
2.3.3	交通負荷抑制	3.0	1.0	-	1.0	-	1.0	-					
2.3.4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	1.0	-	-	1.0	-					
3.2.2	砂塵の抑制	-	-	-									
3.3.1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	2.0	2.0									

主な指標													
Q1 室内環境													
2.1.3	外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) 0.3 U値(W/m2K) 窓システム 3.0 屋根 0.3 外壁 0.9 床 0.9 住戸部分 窓システムU値 3.0 外皮UA値 0.6 η AC 2.2 η AH 1.6 透光率 0.0%											
3.1.1	透光率	自然換気有効開口面積率 0.0%											
4.2.2	自然換気性能	自然換気有効開口面積率 0.0%											
Q2 サービス性能													
1.1.1	広さ・収納性	執務スペース .0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡											
1.1.2	高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/㎡											
1.2.1	広さ感・景観	天井高 0 m											
1.2.2	リフレッシュスペース	リフレッシュスペース % レストスペース %											
2.2.1	躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年											
2.2.2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年											
2.2.3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年											
2.2.6	主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年											
3.1.1	階高のゆとり	階高 0 m											
3.1.2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 25.0%											
3.2	荷重のゆとり	床荷重 - N/m2											
Q3 室外環境(敷地内)													
1	生物資源の保全と創出	外構緑化指数 75% 建物緑化指数 0%											
3.2	敷地内温熱環境の向上	空地率 57% 水平投影面積率 25% 地表面対策面積率 55% 舗装面積率 81%											
LR1 エネルギー													
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級4を超える 相当											
2	自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%											
3	設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 - 住宅 0.79 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW											
LR2 資源・マテリアル													
1.2.1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%											
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -											
2.5	持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%											
3.2.1	消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)											
3.2.2	発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 50											
3.2.3	冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)											
LR3 敷地外環境													
2.2	温熱環境悪化の改善	見付面積比 269% 隣棟間隔指標Rw 0.19 地表面対策面積率 104.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0! 見付面積Sb 2.572㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 37.433 m 基準高さHb 25.54 m 緑地 319㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 200㎡ 再帰性反射対策面 ㎡											